

平成 25 年 1 月 18 日  
ビオトープ協会副会長 野澤日出夫

## 緑のカーテンプロジェクトいわて(GCPI)平成24年度活動報告

昨年度の被災地支援・緑のカーテン普及活動に引き続いて、釜石・大槌の仮設住宅に入居されている皆様の居住環境改善と心の安らぎを提供する目的で、本年度は4か所の仮設住宅に拡大して「緑のカーテン」を提供した。

また、岩手県立大学において三階までのカーテン設置で、つる性植物の生育比較試験及び被災地鶴住居での遮熱効果試験を実施した。

Asia Environmental Allianceの仮設鶴住居小学校及び仮設東鶴住居中学校への緑のカーテン設置活動に「釜石・あさがおネットワーク」が協力実施した。

例年がない酷暑と少雨によって全般的にカーテン植物の生育は不良であったが、設置した仮設団地自治会・住民からは感謝され好評であった。

### 1) プロジェクト構成メンバー:

NPO法人環境パートナーシップいわて  
岩手県立大学総合政策学部  
小岩井農牧株式会社  
NPO法人 Asia Environmental Alliance  
NPO法人 日本ビオトープ協会  
岩手・木質バイオマス研究会  
NPO法人緑のカーテン応援団  
三陸復興の森プロジェクト  
(協力)  
NPO法人遠野まごころネット大槌事務所  
あさがおネットワーク(釜石)

### 2) 設置仮設住宅:

- ① 釜石市 中妻仮設団地(50戸)
  - ② 同 小佐野仮設団地(34戸) 新規
- ・あさがおネットワーク・仮設団地自治会・ボランティアグループ(東京)とプロジェクトの協働による設置 (NHK 取材)



③ 大槌町・大槌仮設団地(47戸)

④ 同 小槌第一仮設団地(100戸)新規

遠野まごころネット大槌事務所(臼澤良一代表)及び仮設団地自治会による全戸設置

3) 大槌町小槌仮設団地の新規設置100戸分プランター及び培養土は、NPO法人日本ビオトープ協会(櫻井淳会長)の協力により、公益社団法人静岡県造園緑化協会(片桐利男会長)から無償提供された(5月25日搬入)。

4) 提供するアサガオ苗は、本年も岩手県立大学(総合政策学部・平塚明教授・渋谷晃太郎教授)の全面的な協力により育苗・提供された。

5) 釜石地区設置作業 平成24年6月16日(土)

プロジェクトメンバー(岩手県立大学・NPO法人環境パートナーシップいわて・NPO法人Asia Environmental Alliance・小岩井農牧(株)及びあさがおネットワーク)の協力と仮設団地自治会によって緑のカーテン設置を行った。

釜石・大槌汚泥再生処理センター(紺野充弘所長)より有機肥料40袋の無償供与を受け培養土と混合使用した。

当日、設置・植栽苗などの希望もあり、即現地にて入手し対応した。

昨年と比べ団地自治会が良く機能していて、親子での参加など和やかな作業となった。

- 6) 大槌地区設置作業は、遠野まごころネット大槌事務所(臼澤良一代表)の指導により別途仮設団地ごとに行われた。(園芸ネット新規100セット・アンカー及びアサガオ・プチトマト145戸分の苗を提供)
- 7) 釜石地区撤収作業:平成24年10月14日(日曜日)  
プロジェクトメンバー・あさがおネットワーク・仮設団地自治会の協力により実施した。  
大槌地区撤収作業:遠野まごころネット大槌事務所・仮設団地自治会により適宜行われた。
- 8) みどりのフェスティバル参加  
・日時:5月27日(日)10:00~16:30  
・場所:中津川河川敷(中の橋下流)  
\* 展示内容:活動内容ほかパネル・緑のカーテン展示・苗展示  
\* 当日協力者:岩手県立大学(平塚教授)・環境パートナーシップいわて  
小岩井農牧・緑のカーテン応援団(谷田副代表)
- 9) 岩手県立大学総合政策学部  
・つる性植物生育比較試験:大学校舎三階までのカーテン設置  
・鶉住居・宝来館への緑のカーテン設置と遮熱効果試験
- 10) あさがおネットワークのAsia Environmental Alliance活動への協力  
・仮設東鶉住居中学校(ゴーヤ)・・・生育良好  
・仮設鶉住居小学校(アサガオ)・・・生育良くない

平成25年度も継続して活動する予定です。

以上